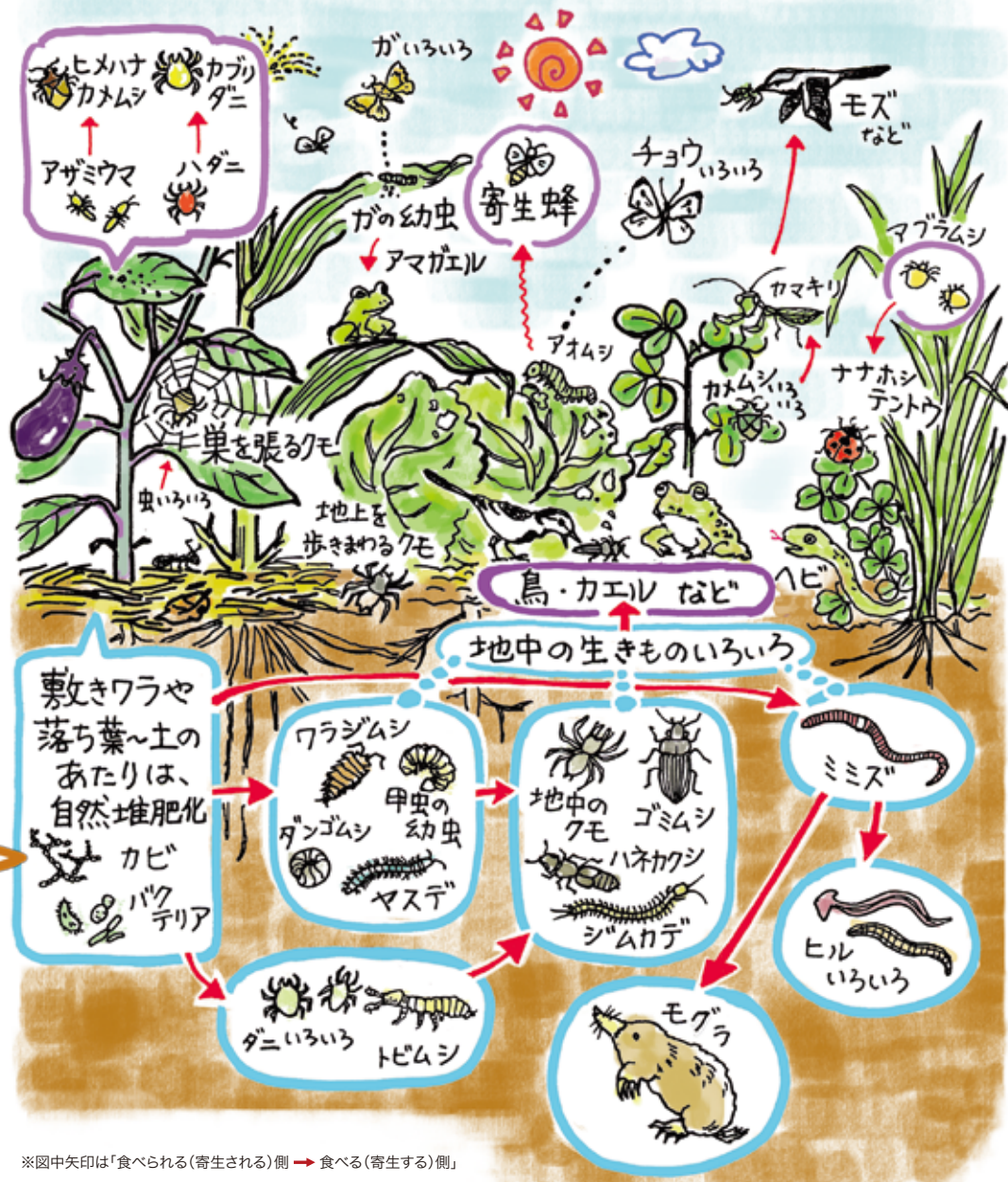


有機農業推進法を受けて、国、地方自治体をはじめ有機農業推進への様々な取り組みがなされようとしています。なかでも、有機農業実施の隘路となっている有機農業技術の体系化は、重要な課題です。現在、国、地方自治体をはじめ民間で様々な技術開発の取り組みがなされようとしています。その情報交流の場は少ないのが現状です。そこで、国、地方自治体、大学および民間の研究者など有機農業の試験研究に従事または関心のある方々と有機農業実施者とが情報交流を行える場として、「有機農業研究者会議2013」を開催します。



# 有機農業研究者会議 2013

2013年11月20日(水) 10:00▶19:30

第1部 10:30~12:30	第2部 13:30~15:00	第3部 15:15~17:15
<b>有機農業は生物多様性に配慮した農業か</b> 座長/木嶋 利男(有機農業参入促進協議会) ■「ただの虫」を無視しない農業—生物多様性管理」 桐谷 圭治((独)農業環境技術研究所 名誉研究員) ■「農業における生物多様性の機能の活用」 田中 幸一((独)農業環境技術研究所) ■「農地の捕食者の多様性を維持する管理とその機能」 馬場友希((独)農業環境技術研究所)	<b>田畑の生きものを活用した栽培管理(実施事例)</b> 座長/鶴田 志郎(有機農業参入促進協議会) ■「兵庫豊岡市におけるコウノトリ育む農法の取り組み」 成田 市雄(森津こうのとりファーム) ■「北海道における施設有機ミニトマト栽培の取り組み」 佐伯 昌彦(有限会社 ビューファーズとらや) ■「佐賀県における大規模有機ミカン作の取り組み」 佐藤 睦(佐藤農場株式会社)	<b>現場で利用できる有機農業技術の研究開発</b> 座長/本多 健一郎((独)農研機構 中央農業総合研究センター) ■「植物共生微生物の群集構造解析による有機栽培作物の微生物特性の解明」 池田 成志((独)農研機構 北海道農業研究センター) ■「天敵銀行でハウス栽培の害虫を防除」 長坂 幸吉((独)農研機構 中央農業総合研究センター) ■「山梨県における有機農業研究と圃場の生き物調査」 國友 義博(山梨県総合農業技術センター)
<b>意見交換会 17:30~19:30</b>		

会場 農林水産技術会議事務局筑波事務所 つくば農林ホール  
(〒305-8601 茨城県つくば市観音台2-1-9)

参加費 ◆資料代: 3,000円 ◆意見交換会費: 3,500円

[主催]「有機農業研究者会議2013」実行委員会  
 [共催] (独)農研機構 中央農業総合研究センター・有機農業参入促進協議会  
 [後援] 農林水産省

FAX.0263-92-6622

E-mail office@yuki-hajimeru.net

ウェブサイト「有機農業をはじめよう!」(yuki-hajimeru.net)  
よりダウンロード可能です。

# 有機農業研究者会議 2013

2013年11月20日(水) 於:農林水産技術会議事務局筑波事務所 つくば農林ホール

参加申込書 以下をご記入願います

参加希望箇所○印願います

ふりがな ご氏名	所属・役職	研究者会議 (資料代 3,000円)	意見交換会 (3,500円)

代表者 連絡先	ふりがな ご氏名	都道府県	
	Email	Tel	
事務局への連絡 (あれば)			

- 料金は原則当日いただきますが、所属団体からの振込などにも対応いたします。お問合せ下さい。
- 宿泊先は、各自で手配願います。

申込締切 2013年11月13日(水) または定員に達し次第

問い合わせ  
申込先

有機農業研究者会議2013実行委員会 事務局

Tel/Fax : 0263-92-6622 E-mail : office@yuki-hajimeru.net 〒390-1401長野県松本市波田5632